

中学歴史プリント（過去問類似）

昭和時代（戦後）

名前

得点

/8

問1 一九七〇年代の日本の外交に関する説明として、歴史的な背景や事実関係が最も正しく述べられているものはどれですか。

（2023年 新潟県公立入試 類似）

- 高度経済成長期を経てアジア外交が重視される中、一九七二年に中華人民共和国との国交正常化を宣言した。
- 一九五五年のアジア・アフリカ会議での合意を受け、ただちに中華人民共和国との間で日中平和友好条約を締結した。
- 冷戦の終結を象徴するベルリンの壁崩壊をきっかけとして、中華人民共和国との間で不正常な状態を終結させた。
- 国際連合への加盟と同時に、ソ連との共同宣言によって中華人民共和国との外交関係を正式に回復させた。

問2 1950年に勃発した朝鮮戦争に際し、日本がアメリカ軍から受けた大量の軍需物資やサービスの注文は、当時の日本経済を戦後の混乱から立ち直らせる大きな要因となりました。この注文による経済的な恩恵を何と呼びますか。 （2026年 山梨公立入試 類似）

- 特需（朝鮮特需）
- 高度経済成長
- バブル景気
- 構造改革

問3 1951年、日本はサンフランシスコ平和条約に調印し、その後主権を回復した。この出来事と年代が最も近いものを、次の選択肢の中から一つ選びなさい。 （2016年 北海道公立入試 類似）

- インドネシアでアジア・アフリカ会議（バンドン会議）が開催された
- 福岡県で官営の八幡製鉄所が操業を開始した
- 第一次世界大戦の講和のために国際連盟が発足した
- 東京オリンピックにあわせて東海道新幹線が開通した

問4 1967年に公害対策基本法が制定されるに至った、当時の社会的な背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。 （2024年

栃木公立入試 類似）

- 重化学工業を中心とした高度経済成長により、経済は豊かになったが、工場排煙や排水による住民の健康被害が激増した。
- 明治時代の富国強兵政策のもとで、鉱山から流出した有害物質が流域の農作物や住民に被害を及ぼした。
- 1990年代のバブル経済崩壊後、大量の産業廃棄物が不法投棄され、生活環境の悪化が深刻な問題となった。
- 第二次世界大戦直後の食糧不足を解消するための農地改革において、農薬の大量使用による土壌汚染が全国で発生した。

問5 1972年の沖縄返還を実現させた佐藤栄作内閣の外交や政策の特徴として、正しいものを説明した文を選びなさい。 （2017年 千葉県

公立入試 類似）

- 「持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則を提唱し、平和外交の姿勢を示した。
- 警察予備隊を創設し、日本の自衛力の基盤を整えた。
- 日米安全保障条約の改定を強行し、日米間の防衛協力体制を強化した。
- 所得倍增計画を掲げ、高度経済成長を加速させる政策を推進した。

問6 1972年に実現した沖縄返還の背景や内容に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 （2023年 静岡公立入試 類似）

- 当時の佐藤栄作首相がアメリカの大統領と交渉し、「核抜き・本土並み」の条件で合意した。
- サンフランシスコ平和条約の締結によって、連合国軍の占領終了とともに返還が決定した。
- 日中共同声明の調印によってアジアの緊張が緩和されたことが、直接の返還条件となった。
- 非核三原則の制定よりも前に、アメリカ側が自発的に基地の全面撤去と返還を申し出た。

問7 第二次世界大戦後、日本は1945年にポツダム宣言を受諾し、平和な国際社会の復帰を目指す戦後改革を進めました。戦時中に掲げられていた「大東亜共栄圏」のような思想とは明確に区別され、教育・科学・文化の協力を通じて国際平和に貢献することを目的に設立された、国際連合の専門機関として正しいものを選択してください。 （2023年 富山公立入試 類似）

- ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）
- 国際連盟
- 満洲国政府
- 東南アジア諸国連合（ASEAN）

問8 1960年代後半から1970年代初頭にかけての日本は、国民総生産（GNP）が資本主義世界で第2位となるなど、高度経済成長の絶頂期にありました。この時期の1970年に、日本の経済発展と技術力を国内外に示すために大阪で開催された、アジア初の国際博覧会は何ですか。 （2024年 長崎公立入試 類似）

- 日本万国博覧会
- 東京オリンピック
- 愛知万博（2005年日本国際博覧会）
- 札幌冬季オリンピック